

第四日 第4章 知財マネジメントとしての標準化

1 【○】 製造工程において作業標準をつくる目的は、生産ノウハウを形式知として共有することである。

【解説】 p. 70 自社で共有することにより社内仕様に作り上げる

2 【×】 「社内標準」は守るべき競争力の源泉なので、標準として公開することが基本である。

【解説】 p. 71 社内標準こそが知的財産として重要であり公開は極力避けるべき

3 【×】 工程内の調整が不要で、すべてが自動化されるようになってきたことを「QC」と言う。

【解説】 p. 72 フルターンキーソリューション（FTKS）であり、QCは品質管理（Quality Control=QC）で、仕事の問題点や性能の向上を追求し品質（Quality）を管理（Control）する活動